

# 貝月山（西美濃）山行記

## やせ尾根で雪庇が続き、急登も続く、侮れない山

2021年2月28日

L：ハンブルクの星、非会員2名

貝月山は5年前の2月に登頂したが、当時雪は少なかった。今回はヒフミ新道沿いに既に1mから1.5mほどの積雪、たっぷりあった。



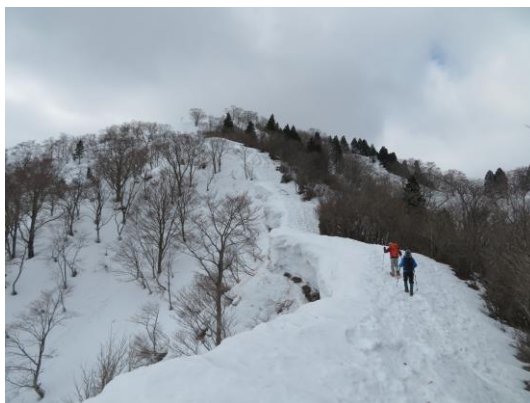
貝月山山頂、後方は白山、能郷白山

駐車場から旧スキー場ゲレンデの直登がいきなり始まった。カチカチの雪質でスノーシューをキックステップしての登りはウォームアップには十分だった。



登山道脇は雪庇が続く

登山口から峠への分岐までは地道に雪が混じる程度だったが、そこからは徐々に積雪が増えてきて、やせ尾根の登山道脇にはえぐられたような雪庇が幾つも続くようになった。



長者の里への分岐へ向かう

長者の里方面との分岐から山頂への上りはさらに斜度 45 度くらいの急登が続き、結構タフな、侮れない山行となった。

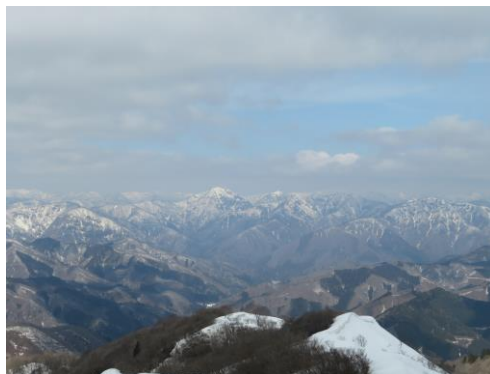
幸いにも風はあまりなく、南には昨年未に登頂した、冠雪の伊吹山を望みながら最初のピークの小貝月山の頂き（標高：1226m）に立つ。



小貝月山山頂直下の急登

ここから北に貝月山山頂の半分雪に埋もれた展望台が見えるようになった。

小1時間ほどアップダウンを繰り返して貝月山山頂（標高：1234m）に立つ。山頂標識は雪に埋もれていたのを誰かが掘り起こしたようだ。積雪は2m近い。



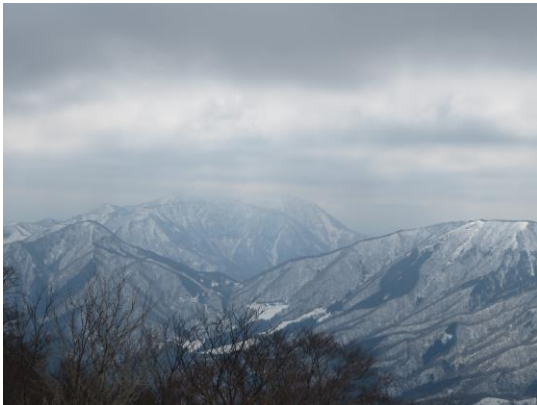
白山、能郷白山

山頂からは 360 度の大展望。北に霊峰白山や能郷白山、そこから南の伊吹山に至る峰々など荘厳な山々が見渡せる何とも贅沢な展望が得られた。

せっかくなので山頂では 1 時間近く滞在してたっぷり展望を堪能した。展望よし、雪質よし、雪量よし、と 3 拍子揃っている割には不思議と登山者が少ないのには少々驚きだった。

あまり知られていない山なのか？

下山は大展望を味わいながらゆっくりと、慎重に歩を進めて、満足度で満点近い雪山山行を締めくくった。



## 伊吹山

### 【行程】

- 5:15 浜松出発
- 7:50 揖斐高原スキー場駐車場到着。
- 8:20 同駐車場スタート。
- 8:35 貝月山登山口
- 9:15 第1、第2リフト分岐
- 11:10 小貝月山山頂
- 11:50 貝月山山頂。
- 12:45 下山開始
- 13:15 小貝月山山頂通過
- 15:10 貝月山登山口
- 15:20 駐車場に戻る
- 18:30 浜松戻る

(谷 晃 記)